

稲高祭に向けての願い

みなさん中間テストお疲れさまでした。いよいよ来月6日（金）から稲高祭ですね。各クラスともこれから本格的に準備を進めていくかと思います。

ところで、稲高祭の目的は何だと思いませんか？「みなさんが稲高祭を楽しむ」ため、一般公開では「稲取高校を訪れる外部の方をおもてなし、楽しんでもいただく」ことを挙げるのではないのでしょうか？もちろんそうした答えは間違っていないと思いますが、私はもっと他の目的があるのではないかと考えています。

それは「文化祭を通じてコミュニケーション能力を磨くこと」や「問題を解決し新しいものを作り上げる能力を身に付ける」ということです。「コミュニケーション能力」については皆さんイメージしやすいと思います。クラス展を成功するために周囲と協力して展示物を作成していかなければならない。そのためにはクラスメイトとの意思疎通や団結力、つまりコミュニケーション能力が必要になるということです。

では、「問題を解決し新しいものを作り上げる能力を身に付ける」とはどういうことなのか？例えば、クラス展の展示物を作成しているときに、他の人と意見が合わなかった場合あなたはどのようにしますか？そのようなときに必要になってくるのが「問題を解決し新しいものを作り上げる能力」です。それぞれの意見を集約する、それぞれの良いところを生かし、よりよいものを作り上げる、他者の考えを理解する。そのような能力を身に付けてほしいのです。自分の意見を押し通す、自分が我慢する…、そのような対応をすることもあるかもしれませんが、そうした対応はしばしばトラブルを生じさせることがあります。

これから先、高校を卒業すると、自分自身のことばかりではなく他者を理解すること、他の人の気持ちを理解して物事を進めていかなければならないことが多くなってきます。そのためにもこの文化祭を自分自身の成長へのきっかけにしてほしいと思います。



5月・6月の予定

- 5/22（木） 進路ガイダンス（3年生・5、6限）
- 5/24（土）・25日（日） 進研マーク模試（3年生・希望者）
- 6/ 6（金） 稲高祭（校内発表）
- 6/ 7（土） 稲高祭（一般発表）
- 6/ 8（日） 公務員模試（3年生・希望者）
- 6/10（火） 全校集会（午前中のみ5分短縮授業）
- 6/11（水） 情報リテラシー講座（LHR）
- 6/12（木） 進路ガイダンス（2年生・5、6限）
- 6/15（日） 看護医療模試（3年生・希望者）
- 6/18（水） 心理テスト（LHR）
- 6/19（木） 進路ガイダンス（1年生・5、6限）
- 6/20（金） 校外研修（1年生）
- 6/23（月） 校外研修（2年生）

特に1、2年生の皆さんはこの先、進路ガイダンスをはじめ、模試など進路行事が多く予定されていますので積極的に参加するようにしていきましょう！！



大学・短期大学についての基礎情報

高校卒業後に進学することができる進路先として、大学や短期大学の他に、専門学校、専門職大学、専門職短期大学などがあります。そもそも「大学はどのようなところなのか?」「他の教育機関と違うのか?」といった疑問もあるのではないのでしょうか。まずは他の進路先と比較しながら大学の特徴をチェックしておきましょう。



	大学	短期大学	専門学校	専門職大学・専門短期大学
目 的	学術の中心として、広く、深く学芸を研究し、知識、道徳的、および応用能力を展開させる。	深く学芸を研究し、職業または実生活に必要な能力を育成する。	職業もしくは実生活に必要な能力を育成、または教養の向上を図る。	企業の現場で役立つ知識・技術を実務家教員が養成し、専門性が求められる職業を担うために必要な実践的かつ応用的な能力を育成・展開させる。
年 限	4～6年	2～3年	1年～4年以上	4年（専門職大学） 2・3年（専門職短期大学）
単 位	卒業単位 124単位以上	卒業単位 62単位以上 (2年制)	年間800時間以上 単位制の場合、大学・短期大学に準ずる。	卒業単位124単位以上 (専門職大) 同62単位以上 (専門職短大)
学校数	813校	297校	2,676校	専門職大20校 専門職短大3校
学生数	2,628,310人	78,295人	558,255人	専門職大7,060人 専門職短大548人
高校からの 進学者数	535,721人	28,278人	142,468人	左記データに含まれる
学位・称号	学士	短期大学士	専門士、高度専門士	学士（専門職大） 短期大学士（専門職短大）
資 格	大学でないと取得できない資格 (高等学校教諭、医師、薬剤師など)	短大・大学で取得できる資格 (小学校・中学校教諭・保育士など)	各校、各学科で認定された国家資格や公的資格、民間検定	大学・短大で取得できる資格 各校、各学科で認定された国家資格、民間資格など

※文部科学省「令和6年度 学校基本調査報告書」より

目的に合わせた選択を ー大学選択で大切なことはー

上の表からわかるように高校からの進学者数が最も多い大学は、それだけ受け皿が大きいといえます。そのようななか、大学を選ぶうえで大切なことは、「入学できる大学」ではなく、「入学したい大学」を選ぶことです。そのためには、自分の進学目的を考え、大学の形態や種類、特徴を知り、「入学したい」と思える大学を見つけておくことが大切です。現在、大学の学部数は2,700以上あるそうです。まずは、学校案内を取り寄せ、大学のウェブサイトなどと合わせて情報収集をおこないましょう。



大学の学問系統について



では、どのようにして「入学したい大学」を決めればよいのでしょうか？志望校を決定するうえで重要なポイントとなるのが、大学での学問選び、つまり「何を学ぶのか」です。近年は文理融合型の学部も増え、選択肢が多様化しています。また、大学で学んだ内容によって取得できる知識やスキル、資格が異なり、将来の仕事にも関係してきます。「どのような大学で何を学ぶことができるのか」、研究することが必要になります。

人文科学系

「人」が生み出したものを研究する分野で、人間が長い年月をかけて作り上げた思想や知恵、歴史、文化などを調査、研究する学問系統です。



社会科学系

社会における「人間のいとなみ」の研究を行う分野で、システムやルールの問題点を調査し、解決策を考えていく学問系統です。



自然科学系

「自然」の研究を行う分野で、人間が暮らす自然界の原理を解明し、これからの生活に役立てることを目指す学問系統です。



総合系

従来の3つの学問系統を横断しながら、学際的、総合的な視点で研究を行います。時代の要請で生まれた新しい学問系統です。

また、みなさんが大学への進学を考える際、多くの人が最初に出会う分岐点は「文系か理系か」という選択肢ではないかと思います。一般に大学受験では、人文科学系や社会科学系は「文系」、自然科学系は「理系」という枠組みで分類されています。（総合系はどちらも含まれます。）

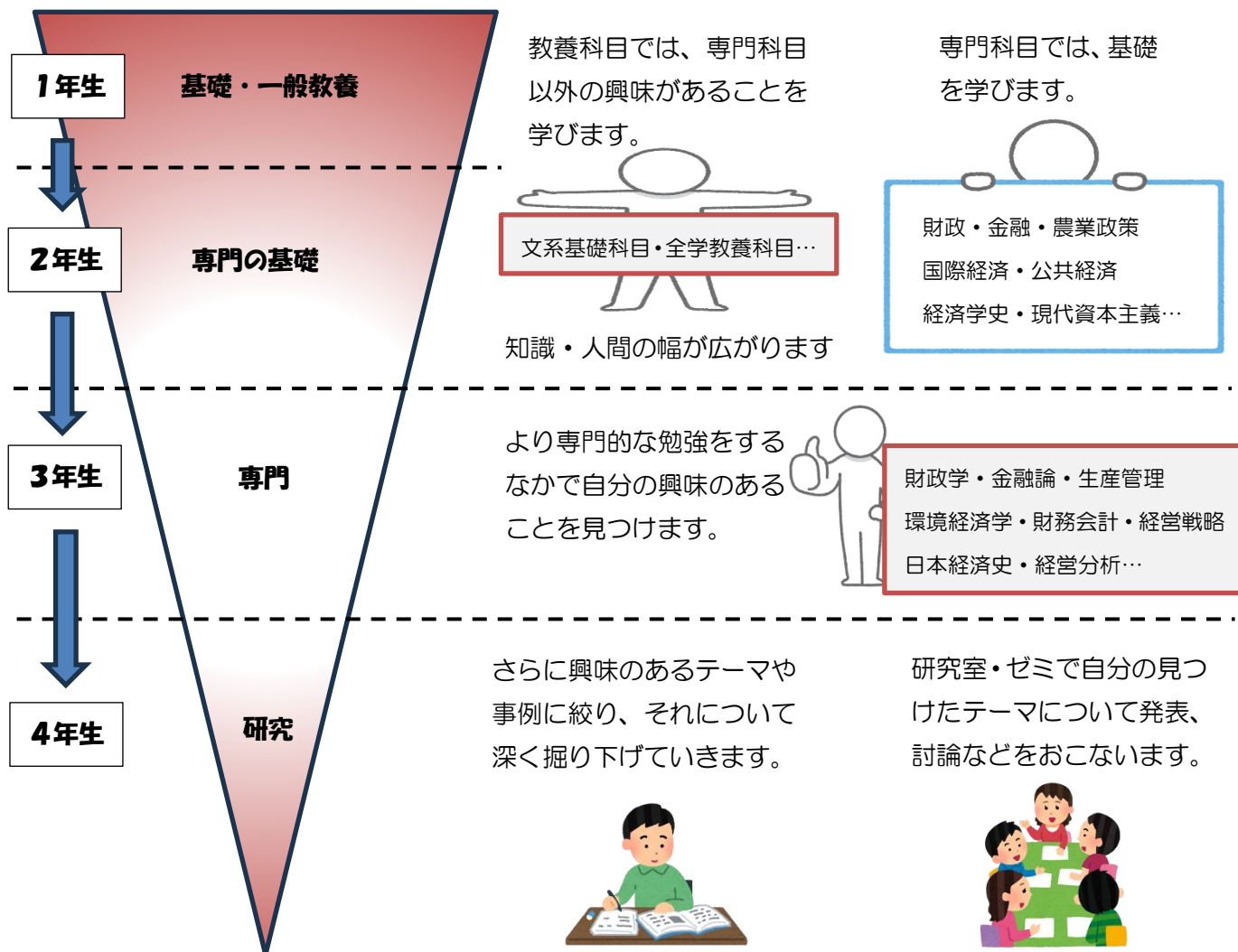
しかし、大学に入学してからの実際の研究では、文系・理系という枠組みはあまりないようです。上の図を見てわかるように、どの学問もゆるやかに繋がっているからです。

人文科学系	社会科学系	自然科学系	総合系
学部学科	学部学科	学部学科	学部学科
文学、語学、歴史・地理学、心理学、哲学 など	法律学、政治学、国際関係学、経済・経営、商学、社会学 など	理学、工学、医学、歯学、薬学、看護・保健衛生学、農学、獣医・畜産学 など	教育学、環境学、情報学、人間科学、スポーツ科学、福祉学、家政・生活科学、芸術学、教養学 など

大学4年間のイメージは？

1、2年生では学問分野全体の要点を満遍なく知るための講義である「概論」が中心となります。3、4年生になると実際に自分で選んだテーマの研究や発表を行う「演習」が講義の中心となってきます。

経済学の例



稲取高校の先輩が選択する学部学科は？

稲取高校から大学へ進学する際には、経営学や法学を専攻することが多いようです。この2つの学科学部ではどのようなことを勉強するのかをまとめてみましたので参考にしてみてください。

経営学

企業活動の大きな要素である「ヒト」「モノ」「カネ」を中心に、よりよい企業運営の理論と方法を研究していきます。具体的には「どのような組織を作り、社員をどのように配置すれば無駄を省き、人材を有効活用できるか」「どのような商品を誰に向けて売るべきか」「どうすれば低いコストでたくさんの商品を生産できるのか」などを考えていきます。

法学

社会では毎日とても多くのトラブルが発生しています。トラブルを解決するためには、共通のルールが必要です。そのルールが「法律」であり、法律を学ぶのが「法学」という学問です。法学の研究は、単に法律の条文や判例を暗記して、学説を学ぶことではありません。法律や判例の学習を通して、リーガルマインド（法律家として身につけておくべき柔軟な思考力）を身につけることが求められます。